



日時: 令和6年4月09日(火) 18時30分

場所: 貴生川コミュニティセンター2階集会室

協力: 立命館大学阿部研究室

会議内容として

1. メンバー紹介

説明内容(抜粋)



○市民参画者数名の入れ替えに加え、JR西日本、近江鉄道、信楽高原鉄道、水口青年会議所からメンバーが参加した。



2. 令和6年度の目標、体制、スケジュールについて

○「人口流出を留める機能を強化する」「鉄道を守り、公共交通結節点としての機能を高める」「整備の波及効果を市内全域に及ぼす」という大きな目的を達成するための一つの手段として、貴生川エリアプラットフォームを中心にまちづくり会社の設立を視野に入れ活動する。

○まちづくり会社準備会として、社会実験により収益事業の検証や組織形態を検討する



3. 草津まちづくり株式会社の視察報告について

- まちづくり活動を行う上では、市民の事業への理解が必要。活動の中には、税金を資本とする活動もあるため、非難されることもあるが、行動で示さなければならない。
- 草津駅周辺の商店街は、夜の居酒屋が多く、昼間の回遊性が少なかったため、数多い高層マンションに住んでいる若者を京都などへ行かさず下へ降ろすことを意識された。
- 本市はそれほどのパイがない。規模に見合った事業を検討する必要がある。

4. 気仙沼におけるまちづくり会社について

○震災復興事業で、市有地に公共施設+民間施設を整備し、まちづくり会社が気仙沼にふさわしい地域の人の暮らしが豊かになるテナントを誘致した。

5. 社会実験について

- まち会社が実施することを試しにチャレンジする。失敗してもよい。次につなげることが大事。
- 8月中旬から10月中旬を実施期間としたい。
- イベントはできることが分かったので力を入れる必要はなく、日常生活をする人向けに「豊かな暮らしのために何ができるか」を実施する。その手段として、盛り上げるのではなく、「収益性」をメインに検証する。



6. 今後の予定

○次回: 令和6年7月9日(火) 18時30分~@貴生川コミュニティセンター

